

第 2 号議案

平成 2 1 年度事業計画（案）及び
平成 2 1 年度収支予算（案）について

I T コンソーシアム京都 平成 2 1 年度事業計画（案）

I T コンソーシアム京都では、産学公の広範囲な連携のもと、前身となる 2 団体の活動成果を活かしながら、I T の利活用推進による府域の発展・活性化に取り組んでいく。

普及啓発関係では、「第 9 回ケータイ国際フォーラム」や「COOL JAPAN EX 2009 in KYOTO（仮称）」、「京都ユビキタスミュージアム推進機構」等との連携による啓発イベントを開催するとともに、I T 利活用推進や情報セキュリティに関する府民向け、会員向けの啓発事業を行う。また、継続してホームページによる情報発信や電子メールによる会員向け情報提供を行う。

調査研究活動としては、本年度も、「ネットワーク部会」、「医療情報化部会」、「地上デジタル放送活用部会」及び「情報セキュリティ部会」の 4 つの部会を柱とし、具体的なプロジェクトに取り組んでいく。

主な事業計画は次のとおりである。

1 普及啓発活動

（1）情報提供

- ・ I T コンソーシアム京都ホームページによる情報発信
- ・ メールマガジン「I T コンソーシアム京都ニュースレター」の送信により、事務局からの情報提供に加え、会員からの情報提供、各種研究会・講演会の案内、府内の I T 関連情報など、タイムリーな情報を会員向けに提供

（2）会員向けセミナー

- ・ I T 先進地の視察見学会やセキュリティ関係のセミナー等、会員向けの各種セミナーを実施
- ・ 京都ユビキタスミュージアム推進機構と連携した研究会等を開催

（3）府民向けセミナー

- ・ 「第 9 回ケータイ国際フォーラム」や「京都ユビキタスミュージアム推進機構」、「京都 知恵と力の博覧会」、「COOL JAPAN EX 2009 in KYOTO（仮称）」と連携した啓発イベント
- ・ その他、インターネット安全教室等、府民向けに情報セキュリティや I T 利活用を啓発するセミナーを開催

（4）共催・後援・協賛事業

- ・ 第 9 回ケータイ国際フォーラムの推進（実行委員会への参画、連携イベントの開催）
- ・ 「全国地域情報化推進セミナー2009 in 京丹後」（7 月）への協力
- ・ 「COOL JAPAN EX 2009 in KYOTO（仮称）」への協賛
- ・ 「インターネットコンファレンス2009」（10 月）への協力
- ・ その他、府内での I T 関係の各種イベント等に対し、共催、後援により参画し、府域での普及啓発を他団体と連携して推進

（5）会員の拡充活動

- ・ 部会活動の展開等に併せて会員の拡充活動を実施。

2 調査研究活動（部会活動）

（1）ネットワーク部会

情報通信インフラの利活用推進として、京都デジタル疎水ネットワークに代わり今年度整備される新たな府の情報基盤について、情報提供や意見交換等を行う機会を設けるとともに、今後の府内情報基盤のあり方について議論を行う。

また、総務省、市町村、電気通信事業者等を交えた関係者により、ブロードバンド・ゼロ地域解消に向けた検討を引き続き進める。

さらに、けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会エネルギーの情報化WGなどの関係団体と連携し、「グリーンIT」に関する研究・啓発活動を行う。

（2）医療情報化部会

京都府民向けPHR（Personal Health Record）システムの実現を目指し、特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センターや株式会社ウイルコム等が運営する個人向け健康情報管理サービス「ポケットカルテ」について、昨年度の実績を踏まえ更なる普及を図るとともに、登録データによる分析やビジネス化等も視野に入れた更なる活用を模索する。

また、厚生労働省で検討が進められている「社会保障カード」（仮称）プロジェクトと、当部会の共通診察券発行プロジェクト及び電子保存医療関連情報相互利用プロジェクトとの連携を引き続き図っていくほか、医療分野への次世代高速無線通信の活用、医療・医薬品へのICタグ活用等、医療分野におけるITの利活用について、これまでの成果等を踏まえた医療機関への実装や医療安全への貢献等について引き続き検討していく。

（3）地上デジタル放送活用部会

ワンセグ放送の有効活用として、地域限定版ワンセグや、大学内ワンセグ放送、エンターテインメントコンテンツのワンセグへの有効活用等について引き続き検討する。具体的には、昨年度までの実証実験等の成果を踏まえ、「COOL JAPAN EX 2009 in KYOTO（仮称）」において、視聴者数の把握や他会場への誘導等を新たな実験テーマとして、スポットワンセグ放送を活用したイベント情報配信を実施する方向で検討を進める。

また、データ放送の有効活用について引き続き検討するほか、ネットワーク部会と連携し、府内の難視聴地域の解消に向けた検討を進める。

（4）情報セキュリティ部会

府民向けの情報セキュリティ啓発事業として、一般府民向けに情報セキュリティの基礎知識を啓発する「インターネット安全教室」とあわせて、携帯電話事業者等の関係団体と連携して青少年向けに携帯電話の安全な利用を啓発するセミナーを開催する。

また、会員向けの事業として、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）及び京都商工会議所等と連携し「情報セキュリティセミナー」を開催するほか、中小企業や教育機関、自治体等の各種団体に対する情報セキュリティ対策の支援について、引き続き具体的な支援策を検討していく。

ITコンソーシアム京都 平成21年度収支予算(案)

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異	備 考
収入の部				
1 会費収入	(3,690,000)	(3,990,000)	(300,000)	【会費収入内訳】 ・ 普通会員(20,000)×122 2,440,000 ・ 府(500千円)、市(500千円)、京商150千円、 ASTEM(100千円) 1,250,000
会費収入	3,690,000	3,990,000	300,000	
2 雑収入	(7,864)	(1,500)	(6,364)	
雑収入	7,864	1,500	6,364	預金利子
3 その他	(0)	(0)	(0)	
その他	0	0	0	
当期収入合計	3,697,864	3,991,500	293,636	
前期繰越収支差額	4,062,136	4,868,500	806,364	
収入合計	7,760,000	8,860,000	1,100,000	
支出の部				
1 事業費	(2,800,000)	(3,100,000)	(300,000)	
調査研究費	2,200,000	2,500,000	300,000	部会活動経費
総会費	500,000	500,000	0	総会
会議費	100,000	100,000	0	委員会、事務局会議
2 普及・啓発費	(3,900,000)	(4,400,000)	(500,000)	
講演会費	2,700,000	3,000,000	300,000	府民向けの各種セミナー、ケータイ国際フォーラムや京都ユビキタスマuseum推進機構、京都知恵と力の博覧会等との連携イベント
会員セミナー費	500,000	500,000	0	年4回程度
HP作成運用費	200,000	200,000	0	サーバホスティング経費
協賛事業	500,000	700,000	200,000	COOL JAPAN EX 2009 in KYOTO(仮称)
3 事務費	(700,000)	(700,000)	(0)	
事務費	700,000	700,000	0	消耗品費/通信費/交通費/手数料等
4 予備費	(360,000)	(660,000)	(300,000)	
予備費	360,000	660,000	300,000	
当期支出合計	7,760,000	8,860,000	1,100,000	
当期収支差額	4,062,136	4,868,500	806,364	
次期繰越収支差額	0	0	0	